

認知症疾患医療連携研修会 開催報告

日時：令和4年8月25日（木）17：30～19：00

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室



『高齢者と運転』

感染症対策のため、Web会議システムを活用し、ハイブリット形式の研修会を開催いたしました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者32名に参加していただきました。

〈 講師 〉

北海道警察北見方面本部交通課 北見運転免許試験場

運転免許試験場長 折坂 昌樹 氏

適正係長 土屋 淳二 氏



認知症当事者の運転免許返納について困っている関係者が多く、今回の研修会は北見運転免許試験場の土屋適正係長を講師に『高齢者と運転』というテーマで開催いたしました。道路交通法改正、運転免許自主返納制度等の専門的な内容や安全運転相談について実際の対応事例を交えてわかりやすく講義をしていただきました。また、折坂場長より「運転は危険な行為で複雑で高度な精神作業」という運転についての講話もあり、日常に溶け込んでいる自動車運転について改めて考える機会となりました。

終了後のアンケートでは「公安が相談に乗ってくれる頼りになる支援者であることがわかった」「社会全体の問題として人命第一を考え、困った時は警察に相談することもできるので安心した」「支援者が直接相談してもいいことがわかった、必要があれば訪問もしていただけるのも貴重な情報だった」等、連携できることを心強く感じている声が多数聞かれました。認知症疾患医療センターとしても頼もしい存在であり、今後も連携を図っていきたいと考えております。



今年度の認知症疾患医療連携研修会は残り3回の開催予定となっています。次回10月7日は当院神経精神科嶋田医師による「認知症の病気について」の研修会をハイブリット形式で開催いたします。関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 垂石記）